



木暮 彩晴 ちゃん  
「兄ちゃん、だいすき♡」  
(上宮地町)



横田 飛珠 くん  
「ボール遊びダイスキ♡」  
(山田)



小崎 心菜 ちゃん  
「ごはんだいすき♡  
おかわり常連!!」  
(上町)



小池 宏武 くん  
「わが家の食いしん坊」  
(下影森)



### 応募方法

1～1歳半程度のお子さんの写真を同封し（メールの場合は、500KB以上の画像を添付）、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前（ふりがな）・性別・生年月日を明記のうえ、秘書広報課（✉hisyo@city.chichibu.lg.jp）までご応募ください。  
抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

## 秩父地域の高校

秩父高校 土曜講座始まる！

(秩父高校)



4月18日に土曜衛星講座と土曜特別講座の開講式が行われ、今年度の土曜講座がスタートしました。

1年生の土曜衛星講座は、大手予備校の授業をスクリーンに映して視聴覚室で行われ、英語・数学・国語の3教科の受講生は延べ480人を超えます。受験対策を中心とした講義内容は、成長への一助となります。



2年生の土曜特別講座は、木の香りがする図書館研修室を中心にセミナー室なども利用しながら、英語・数学・国語から始まり、2学期以降は地歴・公民科や理科も加えて9科目で行われます。90分の講義ですが、生徒たちは真剣に集中して取り組んでいます。英語・数学・国語だけでも、延べ500人近くの受講生がいる人気ぶりです。

教員の熱い講義は、生徒のやる気を引き出し、一歩先の自分へと導きます。

## 市民文芸

### 俳句

竹内 弥太郎 選

清貧という語も死語か昭和の日  
行く春や地獄極楽絵図褪せて  
満州に散りたる叔母や春の雪  
筈を掘るも日課の山棲まい  
ふる里は母在りてこそ晶子の忌  
山寺の天にあふれて糸ざくら  
子らの声堤に響き土筆摘む  
綿菓子のごとき浮き雲春祭  
さりげなく寄り添う女の手のぬくし  
水温む草木の息吹き満身に

吉田久長 齋藤 大仙  
近戸町 須田 真弓  
中 町 内田 定男  
上吉田 山口 富江  
道生町 福田 みつ  
下影森 山口千代子  
熊木町 新井トミエ  
黒 谷 中村 美代  
上影森 坂東 光枝  
小 柱 清水喜美子

（評） 今回の作品は、世の変遷につれての世相への思いを詠ったものと、春を迎えての命の息吹を詠んだものが多く見られました。大仙さんは「昭和の日」に改めて時代を考え、定男さんは満州への思いを馳せ、真弓さんは、地獄極楽図に時代の流れを捉え、みつさんは、母への思いを深めました。年齢を重ねても働き続ける富江さん。山寺の枝垂桜や春祭に天の広がりを感じる、千代子さんや美代さん。子どもの声や草木の息吹に、活力を抱くトミエさんや喜美子さん。その中で光枝さんは、人のやさしさに触れています。  
※次回7月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記のうえ、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 6月末締切→8月号に掲載  
短歌 7月末締切→9月号に掲載